

ひの 議会だより

No. 99

平成 25 年 10 月
発行/日野町議会



9月定例会 主な内容

- ・ 24年度決算認定 p2~4
- ・ 公金取扱不正防止対策検証
特別委員会 p5
- ・ 25年度補正予算 p6~7
- ・ 条例、請願審査、意見書... p8
- ・ 一般質問（5人） p10~14
- ・ 特集コーナー p16

日野ボラネットの誕生プレゼント

高齢独居老人宅を会員が訪問し、安否確認と手づくりの品を13年間贈り続ける。これらの活動が評価され今回、防災功労者内閣総理大臣表彰を受ける。

歳入総額 34 億 2,347 万円
 歳出総額 31 億 9,734 万円
 差 引 額 2 億 2,613 万円

平成24年度
 一般会計決算
 認 定

一般会計

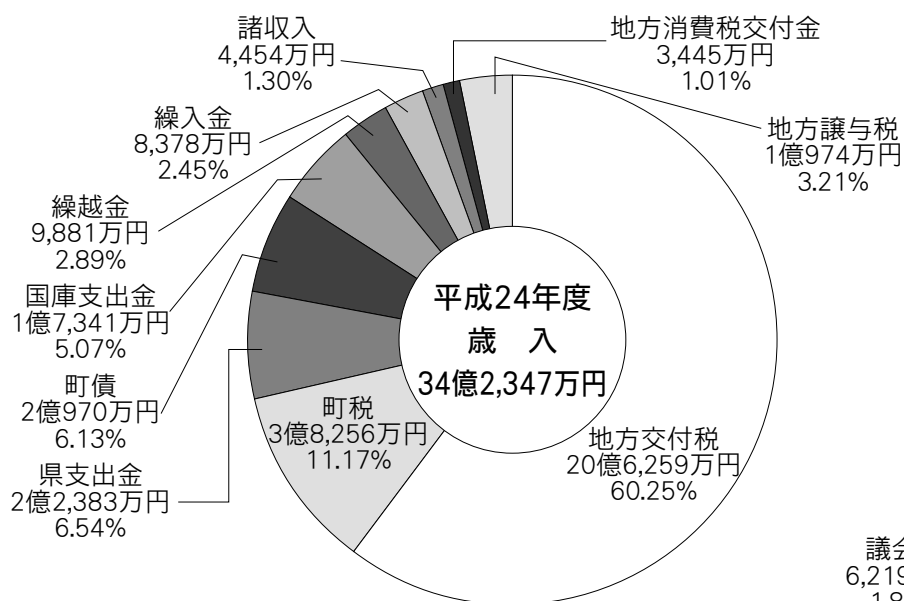
決算審査特別委員会を設置して、9月11日から9月25日までの内7日間、平成24年度一般会計及び特別会計6会計の決算を、監査委員の意見書および各課長から説明を受け、慎重審査の結果、賛成多数で認定しました。

(一般会計決算のみ反対・佐々木求議員)

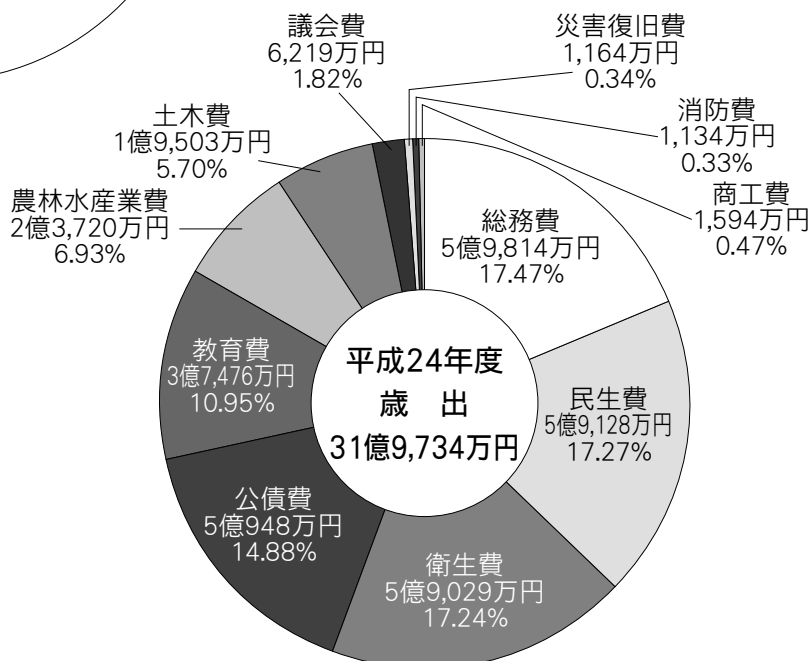
歳入歳出差引額は、2億2613万円の黒字決算でした。平成25年度に事業を繰越した金額は、3606万円です。で、実質収支額1億9007万円となり、法に基づいて基金(預金)に1億円の積立をし、残りの9007万円を、25年度一般会計に繰越しました。

財政健全化に向かう

実質公債費比率は、国の基準である25割を下回り、昨年より1.5ポイント低い21・1割と改善され、借金の将来的負担を示す将来負担比率も昨年より30・3ポイント低い50・7割とより健全化に向かっており評価します。



町民1人あたり
 約90万円
 使いました



数値は端数切り捨てのため、合計が一致しない場合があります。

一般会計
主な使いみち

日野病院組合事業負担金

3億2,119万円

建設利子補助金 3,117万円

・総合行政情報システム管理

3,384万円

- ・町債償還元金
(借入金返済額)
4億7,157万円
- ・広域行政負担金
1億2,817万円
- ・過疎バス対策
1,979万円

・し尿、汚泥処理費

2,675万円

- ・ごみ処理費
1億391万円
- ・農業集落排水特別
会計へ繰り出し
5,459万円

・元気なまちづくり
交付金13団体

202万円

- ・タクシー利用者
補助 180万円
- ・駅前ポケットパーク
看板修繕等
581万円
- ・金持札所屋根改修
97万円

・保育所嘱託員

1,187万円

- ・ひのっこ保育所
管理運営
854万円
- ・文化センター管理
1,567万円

・社会福祉協議会
助成金

846万円

- ・障害者自立支援
1億807万円
- ・健康増進
779万円
- ・後期高齢者医療保
険療養給付費負担金
7,192万円

・農業振興

335万円

- ・中山間地域等直接
支払事業 36集落
4,727万円
- ・新規就農支援事業
150万円
- ・町行造林事業
435万円

・農地・水・環境保
全管理支払事業

109万円

- ・地積調査事業
1,811万円
- ・リバーサイドひの
施設管理
516万円

・根雨小一般管理
1億3,502万円
(耐震補強工事含む)

1,447万円

- ・黒坂小一般管理
4,072万円
- ・日野中一般管理

・町道根雨西側線道
路改良事業

1,532万円

- ・町道天王線道路改
良事業
479万円
- ・橋梁修繕事業
近江橋、濁谷橋
1,015万円

平成24年度 事業別主な地方債(借入金)残高

鳥取県西部地震復旧復興関連	6億 171万円
町道、林道、農道(広域農道含む)	3億6,299万円
庁舎、保育所、町営住宅等施設整備	4億5,529万円
臨時財政対策費	11億8,943万円
災害復旧費	8,202万円
防火水槽等その他	2億8,702万円
地方債(借入金)合計	29億 466万円

平成24年度末
14の基金(預金)
合計

14億578万円

町民1人あたり
49万円

基金(預金)の合計額

主な税金等の年度別滞納額

区分	22年度	23年度	24年度
一般会計	1億1,394万円	1億1,123万円	1億1,183万円
町民税、固定資産税	1,514万円	1,609万円	1,809万円
住宅使用料	355万円	347万円	371万円
住宅新築資金等貸付金	7,372万円	7,169万円	7,070万円
災害援護資金貸付金	2,152万円	1,996万円	1,932万円
特別会計	2,686万円	2,732万円	2,745万円
国民健康保険	2,587万円	2,663万円	2,684万円
介護保険			2万円
簡易水道	66万円	49万円	46万円
公共下水道事業	28万円	15万円	9万円
農業集落排水			2万円

滞納累積にストップを
一般会計の滞納額は、昨年
度より60万円増加して1億
1183万円と多額です。
その内、住宅新築資金等貸
付金、災害援護資金貸付金滞
納額は、減少し徴収努力の成
果と評価しますが、未収金総
額の80・5割で、財政運営に
大きな影響を与えており、納
税義務意識を徹底し、徴収に
努められたいと指摘しました。

特別会計

6会計とも歳入歳出の事務処理については、適正に処理されていました。

企業会計である簡易水道・公共下水道事業・農業集落排水事業特別会計の滞納額は、昨年度より増加しています。

国民健康保険特別会計では、滞納額が昨年度より21万円増加し、2684万円の多額です。

滞納者は、固定化、多重債務化しているの、徴収方法を検討し、徴収方法を指摘しました。

特別会計	歳入総額	歳出総額
国民健康保険	4億2,291万円	3億9,494万円
介護保険	5億4,091万円	5億2,577万円
後期高齢者医療保険	5,349万円	5,343万円
簡易水道	1億1,430万円	1億1,430万円
公共下水道事業	1億2,692万円	1億2,692万円
農業集落排水事業	6,776万円	6,776万円

出席議員全員で認定しました。

主な個別指摘事項

町道の草刈りなど、管理作業は高齢化が進み、集落内でも自助共助で行うことが困難な状況が見られる。支援対策を講じられたい。

鳥獣被害対策により、農業施設への被害抑止が進んでいる。補助は2戸以上の規定がある。飛び地への害が深刻化している。対策を推進されたい。

職員の代休・残業について、課により対応の差異が見うけられる。残業のあり方のガイドラインが必要ではないか。

母子福祉貸付は、現在母子家庭のみを対象に貸付されているが、父子家庭も対象にされたい。

保小中一貫教育において、日野町独自の特色ある教育に取り組まれたい。県下や全国に誇れる保育所、学校にされたい。

中学校には、エアコンが整備され、燃料費が減少した。夏季の教育環境も整備された。

根雨、黒坂小学校については、一部の教室にエアコンが整備されているが、普通教室には未整備である。温暖化傾向にあり、小学校の教育環境を整えられたい。

小中学校児童生徒に係わる体育大会等選手派遣費補助金は、経費の2分の1であるが、平成18年までは全額補助であった。保護者の負担も大きいので全額補助に改正されたい。

26年度以降の予算に、指摘事項が反映されるように町執行部に決算認定にあたり指摘をしました。

12月の議会定例会で、指摘事項について検討された結果の報告を受けることとなります。

一般会計決算討論

反対討論 佐々木 求議員

私は、一般会計が、予算として提案された時にも反対の討論をしました。

理由は、同和対策関連の事業費約2000万円が執行されていることです。

根拠法が無く10年以上も経ったのに、いまだにこうしたものが執行されていることは許されないことです。

一日も早く解決を図るためにもなくすることこそ大事です。

一般会計決算は、不認定とし反対討論とします。



町道

賛成討論

中原 明議員

町民税の現年度の徴収率は、99・73割です。滞納額の大半を占める住宅新築資金等貸付金、災害援護資金貸付金は、多額で固定化・多重債務化にあり徴収に困難を期すものであるが、滞納繰越分は、減少していることに努力の成果は認められる。支出の節減により不用額1億4612万円が算出され、1億9007万円の黒字決算となり1億円の基金積立は、評価します。

実質公債費比率は、21・1割、将来負担比率は、50・7割と大きく改善されました。

指摘事項はありますが、不認定にするような事項はなく、一般会計は、認定とする討論とします。

決算審査特別委員会

委員長 小谷 博徳
副委員長 中原 明
委員 竹永 明文
委員 佐々木 求

“ “ “ “ “
松原 直人
松本 利秋
梅林 智子

(議長、監査委員を除く)

臨時会

平成25年第6回日野町議会臨時会は、平成25年7月29日に開会され、条例の制定1件、補正予算1件を原案どおり可決し閉会しました。

条例の制定

◎町長の給料の特例に関する条例

前会計管理者の公金横領事件の任命責任により、平成25年8月1日から10月31日までの間、町長の給料月額を2割減額する。

賛成多数で原案どおり可決しました。

反対 松本利秋議員

一般会計補正予算

歳入に646万円を追加して、総額を31億1910万円とする。

歳出 災害復旧費

646万円

津地、横路、日野金城線などの災害復旧

全員賛成で原案どおり可決しました。

全員協議会

議会閉会后、公金横領事件について、町長から現時点までの経過説明があり、質疑を行いました。

公金横領の質疑経過

議員 なぜ2年半以上も見抜けなかったか。

総務課長 本人が払い戻しを記載、直接銀行で現金化していた。

数字を合わせた日計表を作っていたので、監査委員も見抜けなかった。

議員 町民にはどのように情報開示、説明責任を図るのか。

町長 防災無線や8月の町報で説明したい。

議員 退職金の返還を退職組合に求めたいと言われたが、町民に早急に知らせる考えは。

町長 早急には考えていない。

退職組合にお願いしていることなので、結論がでたらお知らせしたい。

総務課長 退職組合への手続きは、粛々と進める。

議員 この預かり金の支払いは現金なのか、振込みもできるのか。そういう取り決めはないのか。

総務課長 振込みでないといけないというような取り決めはない。

議員 新聞に出る前に議会

に知らせていただきたい。議員も町民に説明責任がある。

議員 なぜ着服がおきたのか説明されていない。

町長 どこに問題があったのか再発防止策を考える。

各種団体の類似的なお金の預かりもチェックしたり、複数チェック体制も検討する。

議員 議会の責任としても、説明したい。

議員 議会としてのチェック機能の責任と執行部の対応で十分か。

この2点を協議すべきだ。

議員 この事件の説明は今からであり、今後町長の責任も明確化される。議会も防止対策などにおいて、特別委員会を設置して真相解明・再発防止を協議したい。

特別委員会の設置

議長が特別委員会の設置について、議員に諮り全員賛成で特別委員会の設置を決めました。

公金取扱不正防止対策検証 特別委員会設置

9月4日

刑事告訴

480万円

前会計管理者の
公金横領発覚

2,600万円

退職金返納命令

公金横領事件の経過

7月8日 事件発覚

7月19日 議会に事件説明

7月29日 記者会見発表

8月5日 防災無線で陳謝

8月21日 臨時議会開催

元会計管理者へ直接聴取

8月26日 退職手当組合が、

返納を求めたことを説明

8月26日 弁護士ら3名の

審査会答申により県市町村

職員退職手当組合が、前会

計管理者に全額返納命令

9月4日 刑事告訴

9月9日 刑事訴追に向け捜査中

執行部から再発防止策が提示される。



日野町庁舎内 出納室

*退職手当組合

鳥取県市町村職員退職手当組合のこと。

町村財政基盤の安定化と退職手当の安定的な支給の確保を目的とし町村からの負担金を元に退職者に直接、退職手当を支給する。

9月19日

公金取扱不正防止対策検証特別委員会を設置

執行部の示した今後の再発防止策が妥当であるか、日常の公金管理の在り方を検証する特別委員会を議員全員で構成する。

委員長 小谷 博徳
副委員長 梅林 智子

9月定例会

第7回議会は、9月9日に開会、会期を9月27日までの19日間とし、補正予算8件、平成24年度決算8件、条例の制定1件と一部改正1件、特別委員会設置1件、請願審査1件、陳情審査1件、意見書提出2件を原案のとおり可決、認定しました。一般質問では、5人の議員が活発な質問・意見を展開しました。

一般会計
補正予算

1億6,474万円を追加 総額 32億8,385万円

歳入の主なもの

地方交付税	6787万円
国県分担金及び負担金	25万円
財政調整基金繰入金	減額の1778万円
財政調整基金繰入金	357万円
災害復旧費負担金	406万円
観光振興基金繰入金	14万円
愛と元気の日野町ふるさと基金繰入金	109万円
過疎対策事業債	100万円
臨時財政対策債	1439万円
前年度繰越金	9007万円
全員賛成で可決しました。	

歳出の主なもの

財政調整基金積立金
5926万円
減債基金積立金
6000万円



改修中の町道黒谷線

町道黒谷線改良費
1540万円
小原・榎市の道路改良



看板を設置する金持神社参道入口

観光費
金持、おしどりのぼり
旗・案内板設置
新設
金持神社入口の看板
14万円

公用車購入費
251万円
老朽化のため、買い換え

久住放牧地災害復旧
35万円
7月15日の豪雨により
放牧場道路法面崩壊土砂
撤去



タクシー利用する町民

福祉車両購入費補助金
200万円
タクシー利用補助金に
よる利用増に対応するた
め、車種入替えに対する
補助

LED 照明に交換

町の公民館を改修

200万円



改修される公民館ロビー（黒坂）

出産一時金として、国民
健康保険特別会計へ
87万円
出産が2人増えたため

乳児用体重計
4万円

風疹予防接種
107万円



修繕される町道



日野中学校 コンピューター室

中学校コンピューター室
エアコン修理
150万円

道路管理
（草刈り、舗装）
298万円
臨時雇用人員費と道路舗
装等材料費

災害復旧費
759万円
9月3日、4日の豪雨
により町道日野金城1号
線、町道濁谷滝山線の道
路法面崩壊

特別会計補正予算

区分	補正額	総額	歳出の主なもの
国民健康保険	4,093万円	4億3,631万円	保険給付費
介護保険	694万円	5億9,749万円	国、県返還金
後期高齢者医療保険	5万円	5,469万円	広域連合納付金
簡易水道	7万円	1億 601万円	総務管理費
公共下水道事業	261万円	1億 889万円	修繕費
農業集落排水事業	210万円	7,615万円	施設管理費

全議員賛成で
原案通り可決しました。

条例の制定

◎日野町立歴史民俗資料館分館の設置及び管理に関する条例

都合山たたら高殿模型及びたたら製鉄関連資料の収蔵・展示のため、日野町公舎裏庭に新築する「日野町立歴史民俗資料館分館」の管理・運営に関する条例。

条例の一部改正

◎日野町税条例

寄附金税額控除における特例控除額の条例の一部改正及び固定資産税・特別土地保有税の納税義務者等の変更。

請願審査

○麻生副総理の「ナチスの手口を見習い、憲法改定を」という発言に対し、副総理及び財務大臣を辞任するよう求める意見書の提出を求める請願

不採択

(理由)

大臣発言については適切とは言えないが、発言に対して謝罪及び撤回をしており、不採択とした。

陳情審査

○「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保のための意見書採択」に関する陳情について

採択

(理由)

国土の保全、水資源の涵養、自然環境の保持など森林の公益的機能の確保や、地球温暖化対策に重要な森林整備事業等推進する上で、恒久的・安定的な財源を確保することは重要であり、採択しました。

意見書

議員発議による意見書2件を、内閣総理大臣、関係大臣等に提出しました。(抜粋)

○「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保」のための意見書

自然災害などの脅威から国民の生命財産を守るための森林・林業・山村対策の強化を図る。

二酸化酸素吸収源として重要な機能を有する森林の整備・保守等を推進する市町村の役割を踏まえ「石油石炭税の税率の特例」による税収の一定

割合を、森林面積に応じて譲与する仕組みの構築を強く求める。

○道州制導入に断固反対する意見書

町村や国民に対して丁寧な説明や真摯な議論もないまま、道州制の導入法案が提出されようとしている。

道州制は、住民と行政の距離が格段と遠くなり住民自治が衰退する。効率性や経済性を優先し地域の伝統、文化、郷土意識を無視してつくる大きな団体は、地方自治と呼べるものではない。

日野町議会は、道州制に断固反対する。

人事

日野町固定資産評価審査委員会委員の選任に同意

若林 昌 文氏

(根雨)

上 谷 修氏

(久住)

山 形 克 彦氏

(板井原)

指定管理者を決定

日野町農産物加工所の指定管理者に鳥取西部農業協同組合を指定しました。
期間は協定締結後から平成28年3月31日まで。



新築中の歴史民俗資料館分館 (町公舎裏)

総務経済 常任委員会 報 告

男女共同参画推進 条例制定を調査

県下で唯一条例制定のない日野町に条例制定をという考えから、男女共同参画推進会議ひの(つくしんぼの会)会長 生田安子氏より、8月4日の「男女共同参画推進条例制定のための研修会について」の案内が委員会に寄せられました。

研修会に委員会も参加し、境港市の男女共同参画推進会議・岩間悦子氏の講演を聞きま

した。
続いて、9月26日、鳥取県職員 石井宏美氏の「地域の活動の中で男女共同参画をすすめよう」誰かが幸せに暮らせるために」が



8月4日研修会の様子

開かれ、常任委員会としても研修を重ねました。

これまでに日野町は、男女共同参画について、平成16年に「日野町男女共同参画プラン(第一次)」を作成、四つの基本目標を掲げまし

た。
平成25年3月には第二次プラン「きらりと光るまち」(目標年度平成29年度まで)を作成。

「すべての人の人権

が尊重され、あらゆる場面に参画できる、安心して働けるまちづくり」を基本理念に新たな評価委員会を設置して、プランの実施、進捗状況の評価、検討を行っています。

総務経済常任委員会は、定例会で付議された、陳情・請願の検討も行いながら、新たに条例の制定が必要かどうか、今後さらに検討を深めていく予定です。

教育民生 常任委員会 報 告

図書館司書の効果

本町は、保小中一貫教育に沿って学校図書館司書の配置をしています。

教育民生常任委員会は、9月26日、30日に日野中学校の図書館司書の配置の状況を視察し、学校長、学校図書館司書と意見交換をしました。

図書室を視察

日野中学校の図書貸出数は22年度1375冊、23年度(学校図書館司書配置)11519冊、24年度11807冊と大幅な増加です。24年度には、60万円の本が蔵書され本棚も充実してきています。テーマ別や世の中の出来事にあわせたコーナーもあり、生徒達が手

に取りやすい工夫もさ
れていて、昼休憩には、
多くの生徒が図書室に
来て本を読み有意義な
時間をすごしていまし
た。

意見交換

学校長から、司書教諭の確保が困難な実態を聞きました。また、学校図書館司書からは、本のリクエストを探すのには、職員室のパソコンを使っている実情を聞き、日野町図書館

とネットワークを構築
して、常に図書室勤務
ができる環境整備が必
要と感じました。

常任委員会の課題

司書教諭と学校図書館司書、町の図書館との連携が取れてこそ、図書が教育に生かされるものであり、保小中の図書室と日野町図書館を結ぶ図書館ネットワークシステムや図書の充実が課題です。



日野中学校図書室を視察

小規模災害復旧に補助制度を



松本 利秋議員

答 検討します

議員 本町は、少子高齢化と過疎化が進み、高齢化率は42%に達し、町民の生活が危ぶ

まれる状況が始めています。地球の温暖化の影響で異常気象が見られ、局地的に豪雨が発生しています。このような中で、高齢化に対応した安心・安全なまちづくりが求められます。そこで、万が一の災害発生後の復旧に、町独自の小規模の災害復旧補助金の創設を考

町長 災害復旧は、被害額が、道路・河川等公共土木施設では60万円以上、農地及び水路、農道等の農用地施設では40万円以上、林道は30万円以上など、一定の要件を満たす箇所については、国の補助事業を受けて実施しています。この他、町で修繕するものもありますが、小規模の農業用水路や農地災害については、所有者や関係者で復旧して頂いているのが現状です。

異常気象による集中豪雨等頻繁に発生している現状を見ると、小規模災害復旧について、補助制度を検討します。

議員 町道の中で生活道、バス路線を侵害している樹木などは、通行に危険です。これに対処する自治会等への補助金の創設は出来ませんか。

町長 原則自治会で対応して頂いておりますが、道路に対する危険性が高く、緊急的な措置が必要な場合、産業振興課に相談頂きたいと思っています。



地区住民による高齢者の見守り

高齢者の話し相手に

議員 高齢者ふれあい見守り事業の成果はどうですか。

町長 平成23年度から75歳以上の1人暮らし等のお宅を訪問、話し相手となり意見や要望など約160件を持ち帰り、問題解消に努めています。

議員 この事業の継続は勿論必要ですが、自治会が活発になれば助け合いも自然に生れて来ると思っています。

行政が率先してコミュニテ

ィー充実の旗振りをされてはどうですか。

町長 町内で、色々なグループがそれぞれ地域に根差した活動をされています。事業をばらばらでやっても効果は少なく、そのつなぎの役目もあり、町の職員1人を見守り支援員として配置

しています。



土砂に埋まった水路



安達 幸博議員

災害時の職員招集に不安

答 本部立ち上げに支障はない



日野町災害対策本部 訓練

議員 西部地区町村会から知事への要望会の時、町長は日野振興センターでの「地元採用職員が少ない」災害時の職員招集の対応に不安を感じるので、その対策を求めています。

本町に置き換えてみると、同じようにいざという時、職員招集に不安を感じることから、職員を地元から採用する考え方を尋ねます。

町長 一般職の受験資格の住

所要件を平成18年度以降、鳥取県西部町村内在住者から日野町在住者及び出身者に変更しています。

保健師、保育士等の有資格者については、現在も鳥取県西部町村内在住者として実施しています。

7月の豪雨の時、日野振興センターに国道の情報を尋ねましたが、明快な答弁がありませんでした。

いざという時、人手不足になるので日野郡出身者の配置を求めたものです。

議員 休日、夜間の災害の時、災害対策本部に人がいない心配は、本町でも同じです。町内の職員と町外の職員の比率を尋ねます。

課長 町内が6割、町外が4割です。災害対応の時、遅い人で1時間程度かかります。

町長 災害対策本部は、全員がそろわないと対応ができない訳でもないで、危機感持

っています。本部立ち上げに大きな支障にはなっていない。

議員 福祉や防災の観点からも町外から通勤する職員に、「日野町に住みませんか」と話されたことはありますか。

町長 「日野町に住んで日野町に奉職するのが使命だよ」とよくいっています。応えてくれる人はいません。

議員 臨時、嘱託職員は、1年ごとの採用ですが、身分が不安定でなかなか応募がないように見受けられます。複数年の雇用期間を設けることを



防災訓練をする町民

考えませんか。

町長 非常に身分が不安定だと承知しています。

複数年という間は、保証しますという方法がないのか検討を進めています。

前立腺ガン検診を

議員 前立腺ガン検診を、町の検診に加えますか。

町長 血液検査であり、国保の特定検診とセットできるので費用と効果を検証し、検討します。

生活保護家庭の子育て支援は

答 支援はしない



梅林 智子議員

議員 生活保護費の切り下げ、母子加算廃止で母子世帯の困窮度は益々大きくなってきて

います。さらに消費税引き上げとなれば生活保護家庭は一層の困難を抱えます。塾費用の助成など支援策はとれませんか。町長 他町ではやっているかもしれないませんが、ニーズ等違いもあるでしょうから、学校教育で学習力を身につけて頂きたいと思っています。

議員 生活保護世帯に対し保

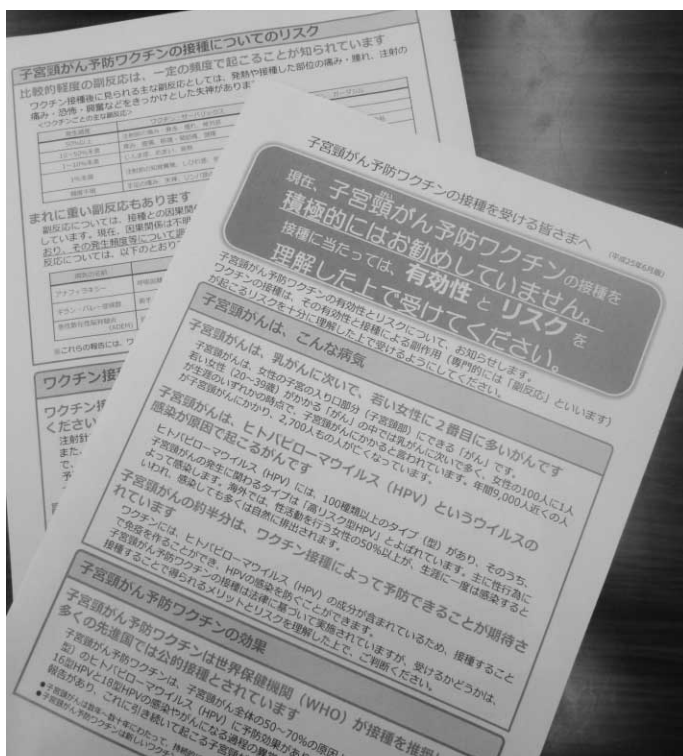


ひのっこ保育所

育料を課しているが取りやめるべきではありませんか。町長 全ての保護者から保育料を負担してもらうことで、保護者の子育て意識の高揚を図ってきました。議員 働いている保護者には徴収した金額を補助し、無職の世帯は生活費から負担させる事で効果はあるのですか。町長 だから町独自で子育て支援金を出している。生活保護費に大鉈を振るって削減すべきと思っています。

限界にきた水路補修

議員 今年7月の豪雨災害では、復旧の経済的負担に耐えられないケースがでてきています。負担軽減対策は行えませんか。町長 小規模災害復旧等の補助制度も検討していきたいと考えています。当初予算を決める時期に、根拠法令を明文化します。



子宮頸がん予防ワクチンパンフレット

子宮頸がんワクチンのその後

議員 子宮頸がん予防ワクチン接種は重篤な副反応被害のため6月に厚生労働省が、積極的に勧めないとなりました。その後の接種状況と副反応被害の実態はどうですか。町長 今年度は6月までは7件でしたが、その後は無く、副反応の報告もありません。

議員 このワクチンの副反応は、激烈に起こる様な過敏性反応、アナフィラキシーショック、気管支けいれん、じん

ま疹、ギランバレー症候群、血小板減少性紫斑病、急性散在性髄膜炎等です。ワクチンと症状が結びつくことが難しいような、症状が報告されていますが対策をとるべきではありませんか。課長 症状の把握に努め、事前説明の中で内容の周知が出来るようにします。



佐々木 求議員

「あやめ」の問題の早期解決を

答 江府町に早急に伝えます



介護老人保健施設「あやめ」

議員 日野病院が指定管理者となつてゐる、介護老人保健施設「あやめ」は来春、指定管理者の更新となります。江府町は建物の借入金返済をすべて「あやめ」に求め支援を行つていません。あまりにも不公正不平等と考えます。その経営の在り方は、日野病院にとつて影響が大きく重要な課題となつてゐます。

町長は、病院事業では管理者ですが町民に直接責任を負い、町民の医療・福祉・介護を守り利益を守る責任があります。他の介護施設の場合通常、利子補給などの支援で事業を行つてゐます。現にこれまで江府町も日野町もそうして来

ました。「あやめ」は建物が江府町のもので、年間約4億円の事業に対し、日野病院が負担している返済金は、年間4800万円というのは納得できません。12月にはどうするのか決まなければなりません。

町長 「あやめ」は江府町の施設であり、指定管理の更新について、まず条件・方針を示していただかないと議論が進まない。方針提示を早急に求めていきます。

病院議会で大いに議論すべき事柄だと思います。これは江府町の施設であるという認識が欠けているのではないかと

思います。きちんと整理整頓をしないといけない、ぎりぎりのところ



おしどり作業所

ろです。江府町に早急に伝えます。

菜種搾油事業の支援を

議員 福祉作業所が行う作業は、工賃3倍化計画のもと、おしどり作業所では搾油機の導入や、支援者の配置を行つてきました。前年度に比べ生産量も落ち込み、原料を郡外に依存する傾向が強まっています。事業所担当者任せにせず、当初の目的を達成するには、体制の整備が必要ではないでしょうか。

町長 当初計画に遠く及ばず減少傾向です。郡外からの買い付けも思うような成果が上

がつていません。今年度から農林振興公社においても約2・5畝の作付けを計画し、栽培の推進を図ります。

事業が軌道に乗るにはそれなりの時間を要します。社会福祉協議会、オシドリ作業所は一層の原料確保に努め、農業改良普及所と一体となり相談、促進できる体制づくりも必要と考えています。

町政の自己評価と町長選挙は

答 立候補は熟慮中



中原 信男議員

立候補される気持ちがありますか。

町民の関心は非常に高いと思います。

現職である町長が、この時期に意思表示する責任があると思います。

卒直な思いを伺います。

町長 卒直に申し上げますと現在、熟慮中であります。

不祥事の経緯など十二分に考慮し、町民のご意見も十分に伺いながら、判断できる時期になれば皆さんに示したいと思っています。

議員 現在の執行部体制に副町長を置くべきだと思います。また、現在のグループ制を改める考えはありませんか。

町長 現在のところ、副町長がいなくても大きな弊害は起きていないが、意見として頭の中に入れておきたいと思えます。

グループ制については制度を取り入れ、まだ一年半しか経過しておらず、引き続きこ

のままの体制を見守って行きたいと思えます。

人と地域に投資を

議員 実質公債比率は21・1割で、全国ワースト9位です。将来負担比率は、50・7割と数字はよくなりました。

今後の政策と投資は人に対する投資、地域に対する投資を検討してはどうですか。

町長 2つの比率を下げることに視点を置いて今まで財政運営をしてきました。

将来何が起きるかかわからず、どんな状況でも予算が組めるという考えから取り組みました。基金の積み立ての目標もそこにあります。

議員 7年半の町政に対する自己評価と、7月に発覚した不祥事について、町長の卒直な気持ちを伺います。

町長 財政破綻宣言後、財政再建に取り組み、職員には早期退職勧奨や、給与削減を行ってきました。

町民には、下水道使用料の増額、固定資産税率の増など各種のご協力とご理解を頂き、財政再建など、一定の成果は出せたと考えています。

不祥事については任命権者として、誠に残念であり、無念の一言です。二度と起こさないよう再発防止に取り組みしていきます。

議員 来年2月の町長選挙に



日野町庁舎

議会広報 常任委員会 報 告

平成25年8月29日、湯梨浜町において「鳥取県町村議会広報研修会」が開催されました。

鳥取県町村議会広報研修会

「議会広報に求められるものは」と題して、広報コンサルタント深沢徹氏の講演を聴きました。

広報紙の編集は、ありのまに、わかりやすく、読者(町民)の事を考え、役所用語は日常語に直し、文章は短くを

基本にすることが大切だと話されました。

議会独自の調査・研究・視察研修・政策提言につながる活動は積極的に報道し、行政のチェック・検証・追跡の姿勢と企画をもつことが大事と付け加えられました。

議会だよりのモニター制度、アドバイザー・写真の公募や広告掲載がある広報紙も増えてきているなど、参考になることが多くありました。

議会広報研修会

本町の議会だより97号の講評では、当初予算の財源と使途を円グラフで表し、「特集・行動」は町民各分野の活動を紹介する好記事です。レイアウトもゆとりがあり、かなりよい出来とお褒めの言葉を頂き編集活動に励みとなりました。

西部町村議会議員研修会

9月3日、南部町天萬庁舎に西部地区7町村の議員約80人が出席して、自治功労者表彰式並びに議員研修会が開催されました。

自治功労表彰(日野町)では、町村議会議員として通算18年以上在職し功労のあった中原 明議員同、通算11年以上在職し功労のあった安達幸博議員が表彰されました。

研修会の内容

研修会では、株式会社フレール代表取締役 松本えり氏を講師に「全ての出逢いに感謝をして」と題して講演を聴きました。

松本氏は、大山寺(吉野旅館)の生まれ。ご主人と2人で榎水に結婚式場「ロテルフレール」を開業。さらに、(株)榎水リゾート設立。「榎水高原教会・リストランテ天空」を開業するなど、リフォーム事業をてがけ、思い出の建物に新しい生命を吹き込んでおられる実業家。

地域活性化に向け、バイタリティーあふれるお話に感銘を受けました。



表彰された議員

日野郡町議会議員研修会

7月31日、日野郡3町の議員研修会が江府町を会場に行われ、俣野川発電所の視察と「江府町に赴任して」と題して、江府町副町長白石祐治氏の講演を聴きました。白石氏は、県職員の時、ほぼ全部署で仕事をしてきたので、その経験を町村自治に生かしていきたいと語られました。

俣野川発電所を視察

西日本最大級の揚水式発電所は、夜間の余剰電力を利用して俣野の水を新庄村まで上



俣野川発電所

げ、昼間に約500メートルの落差を利用して、最大出力120万キロワットの発電を行う地下発電所です。内部に入ると、ひんやりと涼しい風が吹き、丈夫な岩盤で守られた施設は、まさに地下要塞。轟音とともにタービンが回っていました。鳥取県内での電力消費量は最大80万キロワットで、中国電力管内では、電力不足は、起こらないとの説明があり、安心と同時にこれからのエネルギー問題を考えるよい機会になった視察でした。

特集 行動

がんばっている人・団体を、シリーズで紹介します。

活動を始めて13年

ひのボラネット(ひのボランティア・ネットワーク)は、鳥取県西部地震後に出来たグループで最初は災害ボランティアとして活動していましたが、現在は、福祉ボランティアに重点を置き、高齢化社会のニーズに合った生活支援を

続けています。

高齢世帯・独居世帯約600人に、誕生プレゼントを届け、心配事や困りごと、健康などお話し相手をしながら聞き取りして、問題解決へ対処しています。

絆に支えられて

ボランティアは本当に地味な活動で、脇役であると思っています。



アレンジメントフラワーをつくる

今日まで、発展的に活動が継続できたことは、町内と町外のメンバーが固く「絆」で結び合っているからです。訪問したお年寄りの心から喜ばれる姿が、ボランティアの心に感動という形で伝わり、この感動が人と人との結びつき、「絆」という力になっています。



誕生プレゼントをつくる

内閣総理大臣表彰受賞

私たちは、全国で災害が発生すれば、人的支援も行っています。東日本大震災でも、仙台や陸前高田にスタッフを派遣し、現在も継続的に支援を続けています。

今、防災・減災対策で災害弱者・自主防災・民生委員・地域コミュニティ等、そのあり方の再構築が国家的急務といわれています。

先般、総理官邸で、内閣総

理大臣表彰を受賞しました。

地道な13年間の活動が、国に認められたことは誇りであり、高齢化に向かう社会の先進的な取組みとして、今後とも頑張っていきたいと思っています。

(ひのボラネット筆)

編集後記

▽今年の秋は天候も良く、農作業がはかどり、山では、きのこ、栗が豊作のようです。
▽来年4月から消費税率8%引き上げが決まった。世論調査では、賛成53%だが、消費税率10%に引き上げとなると、賛成は39%だそうです。

アベノミクス効果で、景気回復のきざしの中、逆もどりにならないようにしてほしいものです。景気回復の実感も薄い本町では、日野町地域活動支援交付金を活用して地域や町民みんなが生き生きと元気に暮らせるしくみを考えたものです。

▽鳥取県西部地震から13年がたちました。以来毎年10月に防災訓練が行われ、地震に限らず、洪水、土砂災害と防災意識は高まってきました。いざという時、身を守るのは日頃の訓練です。非常時に備えましょう。(松原直人)

議会広報常任委員会

委員長 安達 幸博
副委員長 松原 直人
委員 佐々木 求
小谷 博徳
松本 利秋
梅林 智子

〃 〃 〃
〃 〃 〃
〃 〃 〃